

20世紀の天文史

- 1905年 特殊相対性理論の提唱（アインシュタイン）
恒星の分類（ヘルシュツプルング）
- 1908年 セファイドの変光周期と光度の関係を発見（リービット）
- 1913年 HR 図を発表（ラッセル）
小マゼラン雲の距離を決定（ヘルシュツプルング）
- 1916年 一般相対性理論を発表（アインシュタイン）
- 1920年 銀河大論争（シャプレー対カーチス）
- 1922年 膨張宇宙モデルを提唱（フリードマン、ルメートル、エディントン）
- 1924年 恒星の質量と光度の関係を確立（エディントン）
- 1927年 銀河系の構造と回転を解明（オールト）
- 1929年 銀河の後退速度と距離の関係を発見（ハッブル）
- 1930年 冥王星の発見（トンボー）
- 1931年 宇宙電波の観測（ジャンスキー）
- 1938年 星のエネルギー源としての核融合反応を発見（ベータ）
- 1944年 恒星の種族の提唱（バーデ）
- 1946年 ビッグバン理論の提唱（ガモフ）
- 1948年 パロマー山天文台に200インチ反射望遠鏡を設置
- 1951年 21センチ波を検出（エウエン、パーセル）
銀河系外電波を検出（ブラウン、ハザード）
- 1960年代 電波干渉計技術を確立（ライル）
- 1961年 クェーサーの発見（サンデイジ、マッシューズ、シュミット）
- 1962年 X線星の発見（ジャッコニー、ガースキー、パオリニー、ロッシ）
- 1965年 3K宇宙背景放射の発見（ペンジアス、ウィルソン）
宇宙赤外線観測（レイトン、ノイゲバウアー）
- 1967年 パルサーの発見（ヒューエイッシュ）
- 1968年 多数の星間分子を発見
- 1973年 ガンマー線のバーストを発見（クレバサデル他）
- 1981年 インフレーション理論の提唱（佐藤勝彦、グース）
- 1987年 超新星1987Aからのニュートリノを検出（小柴昌俊、カミオカンデ）
- 1989年 宇宙の大規模構造の発見（ゲラー、ハクラほか）
- 1992年 エッジワース カイパーベルト天体の発見
- 1994年 シューメーカー・レビー第9彗星が木星に衝突
- 1995年 太陽系外の惑星候補天体を間接的に発見
- 1998年 ニュートリノに質量が存在する証拠を検出（スーパーカミオカンデ）